

第12回秋田市地域公共交通協議会 議事要旨

開催の日時 平成24年5月22日(火) 午後2時から3時

開催の場所 県民会館ジョイナス 大研修室

委員の定数 23名

出席委員 18名(うち代理出席10名)

議 事 (1) 平成23年度秋田市地域公共交通協議会決算について
(2) 平成24年度秋田市地域公共交通協議会予算(案)について
(3) 秋田市中心市街地における循環バスの実証運行について

1 開会

2 あいさつ

3 議事

- 議事開始 -

会 長 議事(1)、(2)について事務局から説明願う。

事 務 局 (資料に沿って説明)

委 員 平成24年度予算案においてタクシーに関する事業があるが、具体的にはどのように考えているか。

事 務 局 タクシー車両を利用してデマンド型の実験運行することを考えている。

委 員 対象エリアはどこか。デマンド型の効果があるのか。既に市内でデマンド型の実績があるので、あえて実験をする必要があるのか。

事 務 局 実験の中身についてはまだ詳細を決めていないので、関係者の意見を聞き、検討していきたいと思う。

委 員 ICカードについては地域住民の移動を考慮した機能を考えているのか。

事務局	その機能も含め、導入の可能性を広く捉えて考えたいと思う。
委員	ICカードは何を対象に導入しようとしているか。
事務局	バスを想定している。
委員	市のスマートシティ構想でも地域通貨、ICカード等を検討することになっているが、関係部局間の連携は取れているのか。また、平成23年度で調査研究費の執行がなかったのは、どのような理由からか。
事務局	スマートシティ構想との具体的な連携はこれから調整するところである。調査研究費については、ICカード等の先進地から講師を招く予定であったが、参考となる事例に関する講師との予定等が折り合わなかったため実施を見送った次第である。
委員	スマートシティ構想を含め、庁内で調整を図り、同じセクションが担当するようにしてほしい。
事務局	充分調整するようにしたいと思う。(庁内に副市長を会長とする「あきたスマートシティ・プロジェクト推進庁内連絡会が設置されている。)
委員	先進地の視察とは協議会が視察に行くのではなく講演会という予定なのか。
事務局	こちらから先進地に視察に行く予定である。他都市に2名程度で行くことを考えている。後程、会長と相談して決めたい。
委員	今週から沖縄県那覇市において、携帯電話で運賃の決裁ができるようになる。将来的にはショッピング等も視野に入れているようだ。ICカードの調査も重要だと思うが、携帯電話で利用されているiD(アイディ)の可能性もこの調査で検討していただきたい。
事務局	電子マネー決済についても調査の内容に含めたい。
会長	調査研究の事業として、協議会が事業主体となって実証実験をしていくのか。
事務局	秋田市が実証実験を主体的に行うので、それを補完する形でアンケ

		ート等を実施していきたい。
会	長	他の委員の方からのご意見をいただきながら、この調査研究に関する事業を進めていきたいので、ご協力をお願いします。 ほかに質問等はないか。
委 員	一 同	なし。
会	長	では、議事(1)、(2)について承認してよいか。
委 員	一 同	よし。
会	長	次に議事(3)について事務局から説明願う。
事 務	局	(資料に沿って説明)
委 員		どのような車両を使うのか。秋田駅から中通病院にいくとすると遠回りになるので、通院に利用してもらえるのか。このルートは健常者であれば歩く範囲であると考えられるが、こういった利用を想定しているのか。この辺りは駐車場が多い地区だが、マイカーで来た方が循環バスを利用するのか。例えば、中通病院の帰りに、利用者は買い物広場で降ろされることになるが、なぜ秋田駅を起終点としなかったのか。
事 務	局	車両はバス会社の既存車両を使う。ルートは中心市街地の拠点間の人の流れを活性化するように隈なく回れるように設定した。南通りは朝の時間帯しかバスが走っていないことを踏まえ、新しく一体的に活性化することを考えている。マイカー利用者について、駐車後、別のスポットに移動する場合に、車を使わずに循環バスを利用してもらいたいと考えている。起終点は運行事業者と協議したうえで、運行管理上この場所が最適だという結論だった。(ループ運行しているので車両を交換する時のほかは、ルート図にある起終点においても連続した運行となっている。)
委 員		どの程度の利用者数を想定しているのか。年齢層のターゲットはあるのか。中心市街地の駐車料金は時間によっては数百円も取られるので、循環バスに乗るためにマイカーの駐車料金を支払う人はあり得ない。また、車両は利用者が循環バスだと一目で分かるものにするのか。
事 務	局	この実験を通して利用者数を調査していくので、現時点で利用者数

は想定していない。ターゲットは観光客、ビジネスマンも視野に入れている。車両については、車両の前面と側面に循環バスと表示した横断幕を掲出する予定である。

- 委員 商店街に説明しているのか。したのであれば、反応はどうだったか。
- 事務局 3 商店街合同会議、ネットワーク協議会で説明している。コースや割引券についての意見を承った。
- 委員 充分説明したということか。
- 事務局 そうである。
- 委員 赤れんが郷土館はルートに入れなかったのか。
- 事務局 当初は赤れんが郷土館を通るのがベストだと考えていたが南通りへ向かう通行の環境が悪くなく、定時性を確保できないため現在の案とした。
- 会長 調査はどのように行うのか。
- 事務局 季節ごとに1週間ずつ計3週間行い、3月に集計する。アンケートについてはルート、時間帯、便の間隔、料金などについて設問し、ニーズを把握したい。
- 会長 ほかに質問等はないか。
- 委員一同 なし
- 会長 では、議事(3)について承認してよいか。
- 委員一同 よし。
- 会長 以上で本日に議事を終了する。
- 議事終了 -
- 協議会終了 -